事業所名	グループホーム 朋寿 ※
日付	平成19年8月4日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員・介護福祉士 訪問介護員
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります）※	

2. 評価結果（詳細）

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理念「私たちは出会いを大切に、笑顔あふれるホームづくりをめざし、地域社会に奉仕します」を掲げ、心と身体の健康と人と人の繋がりを大切にしながら家庭的な雰囲気の中で、その人らしく暮らせるグループホームを目指している。 ・私の家族としての関わりを大切にしている。入居者一人ひとりの能力を引き出し、少しでもできることをできる人に毎日確実にできるようにプランに基づき実行できているように努力している。 ・ホームに閉じこもらないように毎日近くを散歩する事を日課に、お堂の掃除・お花の水換え等を行い地域のひととの交流の場作りに努力している。 ・他のユニットとの交流も自然にできている。 ・医療機関との連絡体制ができている。 		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間の危険防止のため各居室に有る小窓に、好みの暖簾を掛けプライバシーに配慮している。 ・集団生活の中で私の家族という考えで個性を大切にしながら暖かな家庭的な雰囲気づくりに取り組んでいる。 ・笑顔で受け入れ笑顔を貰う介護を心掛けている。 ・ウッドデッキや中庭を利用し外気に触れる事で閉塞感の防止に努め、心の安定を図っている。 ・個々の経験や趣味を大切にして、調理・料理の盛りつけを一緒にし、人生の先輩として昔の事を教えてもらう場面や短歌・絵等本人の趣味を継続できる機会を多くもてるような取り組みがなされている。 		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でもできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

1. 評価結果の概要

講評
<p>全体を通して（特に良いと思われる点など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「朋寿は苦楽を共に乗り越えてきた人生の大先輩が友人を招き、長寿を祝い、のんびりゆったり、楽しく生活していただく意味から朋友＝友人、寿＝祝いは長寿を引用して名付けられています。出逢いを大切に、笑顔あふれるホームづくりを目指し地域社会に奉仕します。」を理念に入居者のペースにあわせた介護がなされています。 ・穏やかな瀬戸内海に面した少し小高い位置にあり景観も良く、近くにスーパーや幼稚園・中学校・公園等があります。 ・同敷地内に3ユニット。一階に2ユニット、2階に1ユニットで、1階の2ユニットをつなぐ広い渡り廊下は共有スペースになるように工夫されています。 ・明るく広々と開放感があり、左右にケヤキの木が植えられ優しい景観で外に出ると園芸を楽しむ事ができるようになっています。また洗濯物を干したりする時も安全にできるようにバリアフリーになっています。廊下は畳敷きのコーナーやソファ・テーブル・椅子などを置き入居者の憩いの場として、又さまざまなイベント会場として家族との交流の場に活用できています。 ・私の家族として、入居者の身体状況に合わせてさりげない声かけや支援ができています。 ・毎日近くのお堂に散歩に出かけ草取りやお水の入れ換えを自主的に行っておられ閉じこもらないようにされています。 ・職員間のチームワークが良く、入居者のプライバシーを大切に自立支援と、自由を尊重した暮らしに努めています。 ・グループホームの他にディサービス・訪問介護・居宅支援事業所・介護付マンション・障害者ディサービスなどの併用施設があり福祉のノウハウも充実して柔軟な対応ができています。 <p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>平成12年10月開設されているグループホームで、他に1グループホーム開設され、経営の管理や連絡会議等密に行われ連携がとて良く取れています。地域への理解と交流についても努力されています。玄関に鍵が（オートロック）かかっていますができるだけ交流を図るためにも鍵をかけない時間帯を作るなどの工夫をされる様提案させていただきました。今後ともさらなる工夫や努力をされホームへの理解を深めて貰える様今後の取り組みに期待しています。</p>

III ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その人らしさを大切にした日常生活の（入浴・排泄・食事など残存機能に合わせた）自立支援と趣味（絵・ハーモニカ・調理など）が楽しめる場づくりや、生活習慣（食事の支度・洗濯・掃除など）を支援し共同生活の中でのプライバシーの保護にも努めている。 ・個々の経験や趣味を大切にして、調理・料理の盛りつけを一緒に行う等、昔の事を教えてもらう場面や短歌・絵等本人の好きなことを継続できる機会を多くもてるような取り組みがなされている。 		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に内部研修を行い職員の資質向上に努めている。 ・運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かすように努力されていますが、地域の方との交流がまだまだ不十分のようです。さらなる努力を期待します。 ・必要に応じて入居者の疾病について医師を交えた勉強会や日々現場での介護技術の伝達・自己研鑽による職員間の質の向上に努めている。今後、外部研修に積極的に参加され、より介護への知識を深め一層の向上に期待します。 		